確信

キリストを心から信じ、今晩もし死んでも、必ず天国に行かれるという確信が与えられましたか。

イエスは次のように言っています。

> 「**よくよくあなたがたに言っておきます。わたしの言葉を聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を受け、さばかれることがなく、死から命に移っているのです。**」 **(ヨハネ伝5章24節)**

よくよくあなたがたに言っておきます。	どうしてこれがイエスだと分かりますか。
わたしの言葉を聞いて、	この小冊子に引用したキリストの言葉を聞きましたか。
わたしを遣わした方を信じる者は、	神が御子イエスを私たちの身代わりに死ぬために送って下さったことを信じますか。
永遠の命を受け、	永遠の命は後に与えられるのでしょうか、それとも既に与えられているのでしょうか。
さばかれることがなく、	聖書は、「もしかしたらさばかれない」と言っているのでしょうか、それとも、「決してさばかれない」と言っているのでしょうか。
死から命に移っているのです。	いったいどの時点から、「死から命に移っている」のでしょうか。

この引用聖句によると、どのようにして本当に救われている確信をもてるのでしょうか。

- ❑ それは、心を入れ代えて、神に人生を明け渡した時、確信がもてます。
- ❑ それは、良い行ないの結実の結果、確信がもてます。
- ❑ それは、将来においても、ずっとキリストと共に歩み続けた時、確信がもてます。
- ❑ それは、み言葉を聞いて、誠に心からイエスを信じた時、確信がもてます。

(参照聖句、第1ヨハネ5:10—13)

第一：転嫁

キリストは私たちの罪を、ご自身の上に負って下さった。

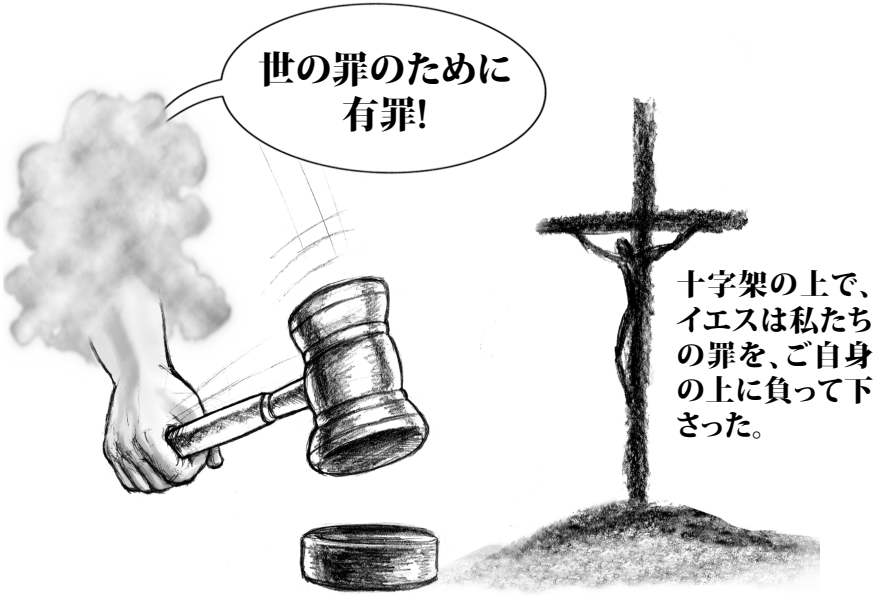
人間のあがないの最初の手段は、イエス・キリストが私たちの罪を、ご自身の上に負って下さったことです。イエスが十字架に掛かった時、神は世のすべての罪（過去、現在、未来）を、キリストの上に置かれました。

> 「**主は私たちのすべての不義(罪)を、彼**(イエス)**の上に負わせた。**」
> **(イザヤ書53章6節)**

> 「**十字架の上で、私たちの罪をご自分の身に負われた。**」
> **(第1ペテロ2章24節)**

> 「**神は、罪を知らない方**(イエス)**を、私たちの代わりに罪とされた。それは、私たちがこの方にあって、神の義となるためです。**」
> **(第2コリント人5章21節)**

天の法廷で、
イエスは世の罪のために罪ある者とされました



神が罪ある人々を罰せずにはおかないのなら、神は誰を罰しなければならないのでしょうか。